

KENWOOD

マリンiPod/USBレシーバー

KMR-700U

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation



目次

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

安全上のご注意	4
本書の読みかた	6

ここを読めば、ひととおり操作できます。

使用する前に	8
iPod と USB デバイスを接続する	8
iPod と USB デバイスを取り外す	8
時計 & 日付調整	9
基本操作	10
共通操作	10
ラジオを聴く	11
iPod や USB の曲を聴く	12

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

iPodやUSBの曲を探す	14
USB ミュージックサーチ	14
iPod ミュージックサーチ	14
iPod イニシャル検索	15
リレーテッドサーチ	16
ドライブセレクト	16

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

ディスプレイコントロール	17
ディスプレイタイプ選択	17
テキスト表示設定	18
サイドディスプレイ表示設定	19
タイトルスクロール	19
AUX ネームセット	20

オーディオコントロール	21
オーディオコントロール	21
音質詳細設定	22
オーディオセットアップ	23
オーディオプリセット	24
オーディオプリセットの呼び出し	25
デュアルゾーンコントロール	26
サブウーファー出力コントロール	26

よく使う操作を設定する (FAVORITE コントロール)	27
FAVORITE プリセットメモリー	27
FAVORITE メモリーの呼び出し	27
FAVORITE メモリーの消去	28
ネームセット	29

メニュー (MENU)	30
メニュー設定	30
バックアップメモリー消去	31

リモコン (別売) セットアップ	32
リモコン ID セットアップ	32
リモコン ID の解除	32
デュアルゾーンコントロール セットアップ	33

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

Help?	34
オーディオファイル	34
表示できる文字について	34
接続できる iPod について	34
ミュージックエディター	34
使用できる別売のリモコンについて	34
故障かな?と思ったら	34
Help? 用語集	35
オーディオコントロール	35
メニュー (MENU)	36
Help? エラー表示	37

取り付け時のご注意	38
接続	40
取り付け	42
仕様一覧	43

保証とアフターサービス	44
--------------------	-----------

**安全上のご注意
本書の読みかた**

**使用する前に
基本操作**

iPod や USB の曲を探す

ディスプレイコントロール

オーディオコントロール

**よく使う操作を設定する
(FAVORITE コントロール)**

メニュー (MENU)

リモコン (別売) セットアップ

Help?

**取り付け時のご注意
接続
取り付け
仕様一覧**

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



警告

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

本製品は、船舶用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。



実施

本機のパネル部以外およびハイダウェイユニットには防水性能はありません。パネル部以外およびハイダウェイユニットは、水のかからない場所に取り付けてください。

またパネルを開けた状態では内部に水が入る場合があります。iPod や USB デバイスなどを接続・交換時は本機内部に水が入らないようにご注意ください。

本機内部に水が入ると本機の破損や発煙、発火、感電の原因となります。

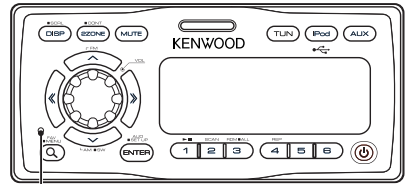


禁止

製品の分解は行わないでください。本体のパネル部は IPX5 の防水性能があります。しかし機構部品を 1 回でも取り外した場合は、その性能は保証されません。

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、「Help? 故障かな? と思ったら」(p34) および「Help? エラー表示」(p37) を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください(リセットボタンを押してもメニューの設定値などは消えません)。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店または、お近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

USBデバイスのご使用上の注意

直射日光が当たる場所など高温になる所に放置しないでください。USBデバイスが変形や故障する場合があります。

本機で使用するオーディオファイルはバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしません。あらかじめご了承ください。

本製品にUSBデバイスは付属されていません。別途、市販品を購入してください。使用できるUSBデバイスについては「オーディオファイル」(p34)を参照してください。

USBハブを介してUSBデバイスを認識させることはできません。

お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

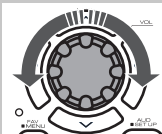
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のものでも拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

本書の読みかた

この取扱説明書では、イラストを使って操作を説明します。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

オーディオノブを操作する
ノブの操作を下の図で表します。



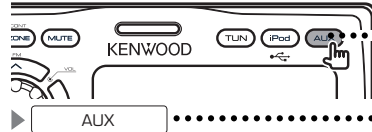
回す

- ▼ : 次の段に続きます。
- : ここで終わります。

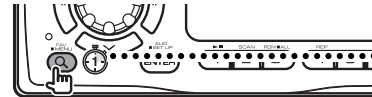
AUXネームセット

AUXソースに切り替えたときの表示を設定します。

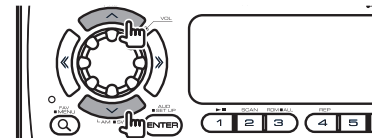
1 AUXソースにします



2 メニューモードにします



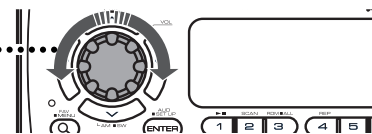
3 ネームセットの項目を選択します



4 ネームセットを開始します



5 AUXネームを選択します



次の順で切り替わります。


- 表示
- AUX
- DVD
- PORTABLE
- GAME
- VIDEO
- TV

6 ネームセットを終了します



上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。


短く押す

で示したボタンを押します。

ディスプレイ表示

この表示になるまで上の操作を行います。

1秒以上押す

で示したボタンまたはノブを1秒（または2秒）以上押します。
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。
左記では1秒間押すことを示しています。
押す秒数は時計の中の表示を目安にしてください。

その他のマーク

ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。



特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。また、機種に依存する事柄も書かれています。



その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

表示の切り替わり

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

iPhoneは、Apple Inc.の商標です。

「Made for iPod」とは、iPod専用接続用の設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

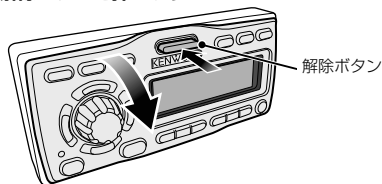
「Works with iPhone」とは、iPhone専用接続用の設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

使用する前に

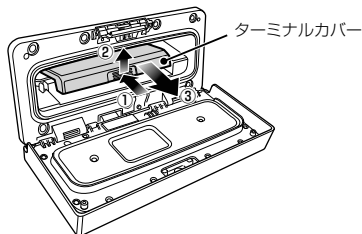
iPodとUSBデバイスを接続する

1 解除ボタンを押します

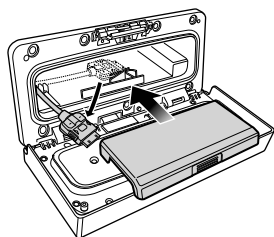


手を添えて操作パネルを手前に倒します。

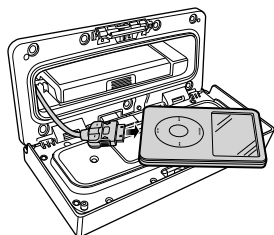
2 ターミナルカバーを取り外します



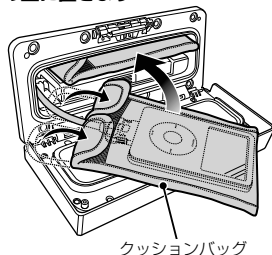
3 使用する端子を取り出し、ターミナルカバーを元に戻します



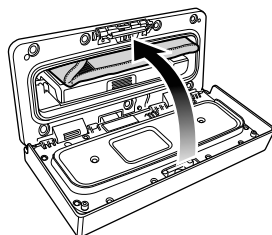
4 iPodまたはUSBデバイスを接続します



5 接続したiPodまたはUSBデバイスをクッションバック（付属）に入れて、ターミナルカバーの上に置きます

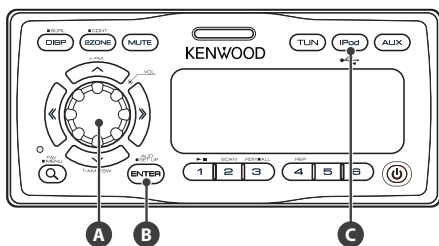


6 パネルを元に戻します



- クッションバックはiPodやUSBデバイスを衝撃から保護します。必ず使用してください。
- 開いている操作パネルに無理な力を加えないでください。操作パネルの破損の原因になります。

iPodとUSBデバイスを取り外す



1 リムーブモードにします

- (A) iPod ボタンを "REMOVE" と表示されるまで2秒以上押し続けます。

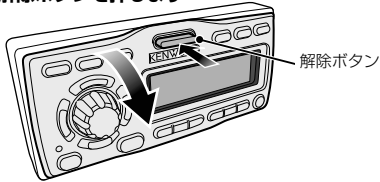
2 取り外すデバイスを選択します

- 取り外したいデバイスを (A) ノブを回して選択し、(B) ENTER ボタンを押します。

3 “YES” を選択します

- **A** ノブを回して “YES” を選択し、**B** ENTER ボタンを押します。

4 解除ボタンを押します



パネルを開きます。

5 デバイスを取り外します

手順2で選択したデバイスのみ取り外すことができます。

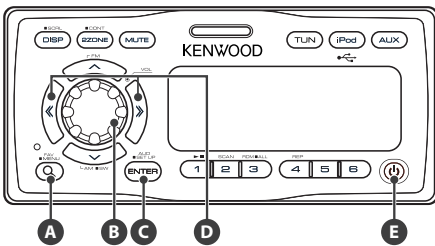
リムブモードを中止するときは…

- **C** iPod ボタンを押します。



- 手順2で選択していないデバイスを取り外すと、デバイスやデバイスに収録されているデータが破損する場合があります。
- 使用しない端子は、保護のためターミナルカバーの中に入れてください。

時計&日付調整



1 電源を入れます

- **B** ボタンを押します。

2 メニューモードにします

- **A** ボタンを “MENU” と表示されるまで1秒以上押し続けます。

3 “Clock Adjust” 項目を選択します

- **B** ノブを回して項目を選択します。

4 時計調整モードにします

- **C** ENTER ボタンを時計表示が点滅されるまで1秒以上押し続けます。

5 時計調整します

操作項目	操作
時/分 選択	D ボタンを押す。
調整	B ノブを回す。

6 時計調整を終了します

- **A** ボタンを押します。

7 “Date Adjust” 項目を選択します

- **B** ノブを回して項目を選択します。

8 日付調整モードに入ります

- **C** ENTER ボタンを日付表示が点滅されるまで1秒以上押し続けます。

9 日付調整します

操作項目	操作
年/月/日 選択	D ボタンを押す。
調整	B ノブを回す。

10 日付調整を終了します

- **A** ボタンを押します。

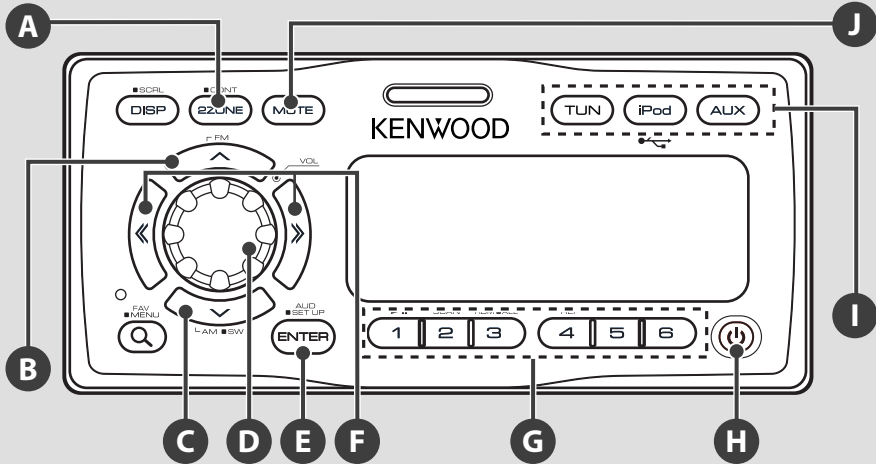
11 メニューモードを終了します

- **A** ボタンを1回押します。



- 電源配線をバッテリーから外すと、時計と日付の調整は初期状態になります。

基本操作



共通操作

H

電源をオン/オフします

ボタン **H** を押すたびに、電源がオン/オフします。

J

音量を素早く小さくします

ボタン **J** を押すと、音量を素早く小さくします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

I

ソースを切り替えます

TUN : FM/AM放送を受信します。(p11)

iPod : iPodやUSBデバイス内のオーディオファイルをプレイします。(p12、p14)

AUX : AUXに入力されたサウンドを出力します。

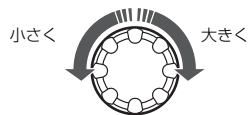


- AUX表示は「AUXネームセット」(p20)で替えることができます。

D

音量を調整します

オーディオノブ **D** を回して調整します。



A

フロントチャンネルとリアチャンネルに異なるソースの音を出力します。

デュアルゾーン機能の使用方法は「デュアルゾーンコントロール」(p26)をご覧ください。




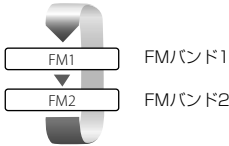
- デュアルゾーン機能を「ON」に設定しているときは次の項目は調整できません。
 - 「HPF Front」、 「HPF Rear」、 「LPF」、 「SW Phase」
 - 「SUB-W Level」、 「Fader」


ラジオを聴く

B C


バンドを切り替えます

 ボタン③を押すと、受信バンドが次のように切り替わります。




 ボタン④を押すと、受信バンドが次のように切り替わります。



- ステレオ受信中は  インジケーターが点灯します。


G

プリセット局を受信します

 ボタン③を押すと、押したボタンにメモリーされている放送局を選局します。

F

放送局を選択します


 ボタン⑤を押すと、受信状態の良い放送局を自動的に受信します。



- 選局方法は設定によって、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信することができます。選局方法の設定は「メニュー設定」(p30)の“Seek Mode”項目で行います。


G

放送局をプリセットします

 ボタン③を2秒以上押すと、押したボタンに受信中の放送局がメモリーされます。

E

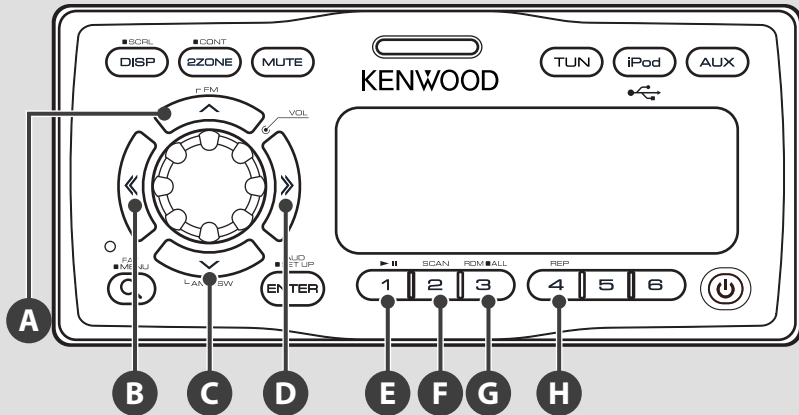
放送局を自動的にプリセットします

「メニュー設定」(p30)の“Auto Memory”項目を選択中に  ボタン③を2秒以上押すと、受信状態の良い放送局を自動的にメモリーします。



- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的に終了します。
- “Auto Memory”項目の選択方法は、「メニュー設定」(p30)をご覧ください。

iPodやUSBの曲を聴く



E

プレイ/ポーズします

1 ボタン \odot を一度押すと、プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

B-D

プレイする曲を選びます

- ▶ ボタン \odot を押すと、次の曲がプレイされます。
- ◀ ボタン \odot を押すと、プレイ中の曲の先頭/前の曲がプレイされます。

B-D

早送り/早戻しします

- ▶ ボタン \odot を押し続けると、押している間、曲が早送りされます。
- ◀ ボタン \odot を押し続けると、押している間、曲が早戻しされます。



- オーディオファイルの早送り/早戻し中には音は出ません。





- \mathcal{Q} ボタンで曲を素早く探すこともできます。詳しくは「USBミュージックサーチ」および「iPodミュージックサーチ」(p14)をご覧ください。


A-C

プレイするフォルダを選びます

- ▶ ボタン \odot を押すと、次のフォルダの曲がプレイされます。
- ◀ ボタン \odot を押すと、前のフォルダの曲がプレイされます。

G ランダムプレイ



 ボタン  を押すと、USBの曲をランダムな順でプレイします。もう一度押すと、通常のプレイに戻ります。


 Folder Random ON フォルダ内の曲をランダムな順で再生します。




- ボタン  を押すと、次の曲をランダムに選択します。

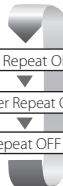
H リピートプレイ

 ボタン  を押すたびに、USBの曲を次の順でリピートプレイします。



 File Repeat ON 現在聴いている曲を繰り返しプレイします。


 Folder Repeat ON フォルダ内の曲を繰り返しプレイします。(USB デバイスのみ)

 Repeat OFF リピートプレイをオフします。



F スキャンプレイ



 ボタン  を押すと、USB内の曲を次々に再生します。聴きたい曲のところでもう一度押すと、通常のプレイに戻ります。

 File Scan ON プレイ中のフォルダやジャンルなどの各曲を10秒間ずつプレイして曲を探します。



- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。
- iPodをプレイ中は使用できません。
- ミュージックエディターメディアをプレイ中にスキャンプレイする場合は、ミュージックエディターの設定により変更ができます。ミュージックエディターメディア以外のオーディオファイルをプレイ中は、最初の部分をプレイします。

G オールランダムプレイ

 ボタン  を1秒以上押し続けると、iPodやUSBのすべての曲をランダムな順でプレイします。



- iPod内の曲数やフォルダ構造によって、オールランダム機能がオンするまでの時間が長くなることがあります。
- オールランダムプレイ機能をオン中にミュージックサーチでブラウズ項目を変更すると、オールランダム機能はオフされて、ブラウズ項目内のランダムプレイになります。

iPodやUSBの曲を探す

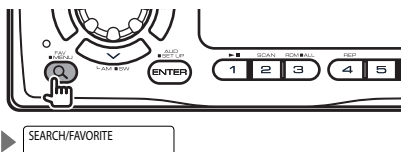
iPodやUSBの曲をいろいろな機能で検索してプレイできます。

- iPodとUSBの基本的な聴きかたは「iPodやUSBの曲を聴く」(p12)をご覧ください。

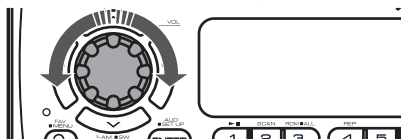
USBミュージックサーチ

USBから聴きたい曲を探します。

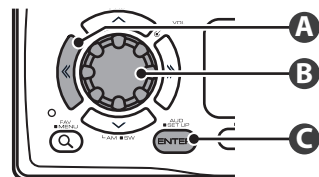
1 サーチモードにします



2 ミュージックサーチモードにします



3 聴きたい曲を探してプレイします



オーディオファイルの操作方法

動作	操作
選択フォルダ/ファイルを移動する	⌲ ノブを回す。
フォルダ/ファイルを選択する	⌲ (ENTER) を押す。
前のフォルダに戻る	⏪ ボタンを押す。
最初のフォルダ(ルート)に戻る	⏪ ボタンを1秒以上押す。

表示している項目がファイルか、フォルダの場合は前後にもフォルダがあるかを“◀”または“▶”アイコンで示します。ファイル表示には“🎵”インジケータが点灯します。フォルダ表示には“📁”インジケータが点灯します。

ミュージックサーチを中止するときは…



⌲ を2回押します。

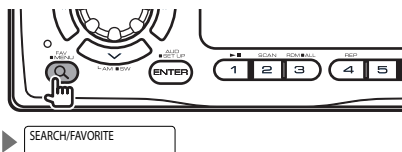


- ランダムプレイ中は、ミュージックサーチを行えません。

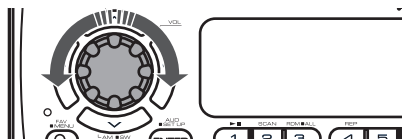
iPodミュージックサーチ

iPodから聴きたい曲を探します。

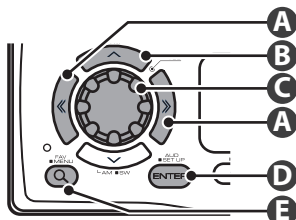
1 サーチモードにします



2 ミュージックサーチモードにします



3 聴きたい曲を探してプレイします



動作	操作
項目を移動する	C ノブを回す。
スキップサーチ*1	A <</> ボタンを押す。
項目の決定する	D (ENTER) を押す。
前の項目に戻る	B へ ボタンを押す。
最初の項目に戻る	B へ ボタンを1秒以上押す。
イニシャルで検索する	E Q ボタンを1秒以上押す。 「iPodイニシャル検索」(p15)

ミュージックサーチを中止するときは…



Q を2回押します。



- *1 スキップサーチ：スキップする曲数は、現在選択しているリスト内総数の割合で決まります。割合は「メニュー設定」(p30)の「Skip Search」項目で設定します。また、3秒以上押し続けると設定に関係なく10%でスキップします。
- 曲名などで表示できない文字は「?」となります。ただし、すべての文字を表示できない場合は、ブラウズ項目名と数字で示します。

表示内容	表示
プレイリスト	“PLIST***”
アーティスト	“ART***”
アルバム	“ALB***”
曲名やファイル名	“PRGM***”
ポッドキャスト	“PDCT***”
ジャンル	“GEN***”
コンポーザー（作曲者）	“COM***”

iPodイニシャル検索

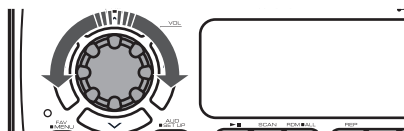
現在選択しているブラウズ項目内(アーティストやアルバムなど)のリストからアルファベットで選択できます。

1 サーチモードにします



SEARCH/FAVORITE

2 ミュージックサーチモードにします



3 アルファベットサーチモードにします

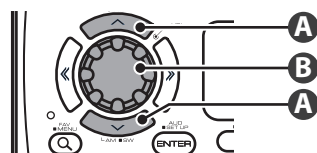


ABC...

アルファベットが表示されるまで押し続けます。

- 現在選択しているブラウズ項目でアルファベットサーチできない場合は表示が切り替わりません。

4 検索するイニシャルを選択します



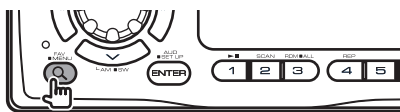
動作	操作
文字を移動する	B ノブを回す。
表示行を移動する	A へまたは∨ ボタンを押す。

5 イニシャルを決定します



検索を開始します。検索が終わると選択した文字位置でミュージックサーチモードに戻ります。

イニシャル検索を中止するときは…

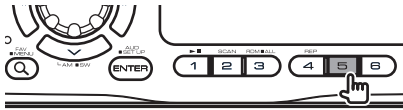


- アルファベットサーチの検索時間は、iPod内の曲数やフォルダ構造によって長くなる場合があります。
- アルファベットサーチのイニシャル選択では、「*」は記号を、「1」は数字を検索します。
- アルファベットサーチでは、最初の文字が冠詞「a」、「an」、「the」で始まる場合は、冠詞を除いて検索します。例えば、「The artist」の場合は「artist」で検索されます。

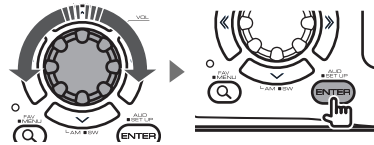
リレーテッドサーチ (iPodプレイ中のみ)

再生中の曲のアーティストの曲や同じジャンルの曲などを抽出して表示します。

1 リレーテッドサーチモードにします



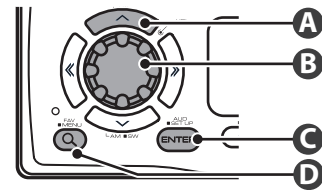
2 ブラウズ項目を選択します



選択可能なブラウズ項目は以下の通りです。

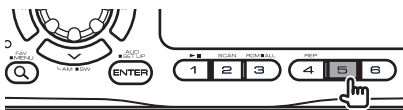
表示	抽出曲
Browse Artist	同じアーティストのアルバムを表示します。
Browse Album	再生中の曲が属するアルバムの曲を表示します。
Browse Genre	同じジャンルのアーティストを表示します。
Browse Composer	同じ作曲者の曲が収録されているアルバムを表示します。

3 曲を探します



動作	操作
項目間を移動する	B ノブを回す。
項目を選択する	C (ENTER) を押す。
最初の項目に戻る	A へボタンを押す。
リレーテッドサーチの中止	D Qボタンを押す。

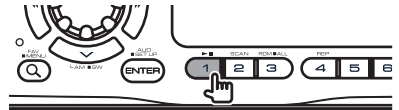
リレーテッドサーチを中止するときは…



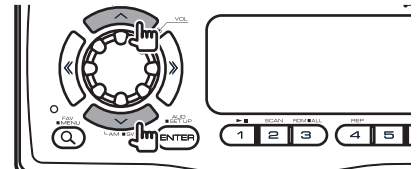
ドライブセレクト

マルチカードリーダーにセットされているメモリーカードを選択します。

1 プレイを一時停止します

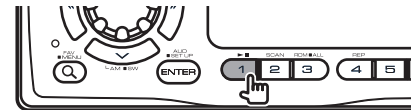


2 ドライブを選択します



上に押すと次のドライブが選択され、下に押すと手前のドライブが選択されます。

3 選択したドライブのプレイを開始します



- 最大4スロットのマルチカードリーダーに対応しています。ただし、複合型のカードリーダー(マウスにカードリーダーが付いている機器など)では使用できない場合があります。
- マルチカードリーダーを接続しているときに、メモリーカードを挿入しても認識されません。マルチカードリーダーにメモリーカードを挿入してから、マルチカードリーダーを本機に接続してください。
- <デュアルゾーンコントロール> (p26) 機能がオンのときにドライブを選択できるのは、フロントチャンネルのみです。

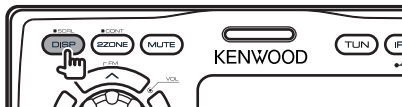
ディスプレイコントロール

ディスプレイに表示する情報を設定をします。

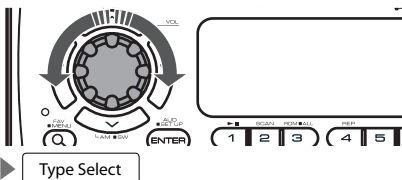
ディスプレイタイプ選択

ディスプレイの表示タイプを設定します。

1 ディスプレイセットアップモードに入ります



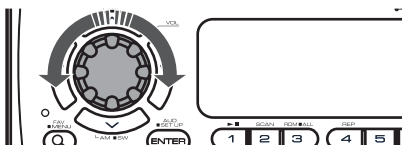
2 ディスプレイタイプ選択モードを選択します



3 ディスプレイタイプ選択モードに入ります

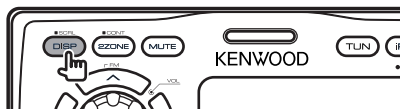


4 ディスプレイタイプを選択します



表示	ディスプレイタイプ
TYPE[A]	テキストを4行表示します。
TYPE[B]	テキストを3行とステータス（各機能のオン/オフインジケータ）を表示します。
TYPE[C]	テキストを3行表示します。
TYPE[D]	テキストを2行とステータスを表示します。

5 ディスプレイタイプ選択モードを終了します



ディスプレイセットアップモードを終了するときは…

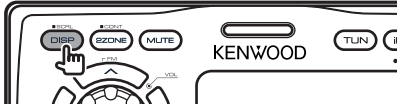


- ディスプレイ左側のソースアイコンやテキストのタイトルは「サイドディスプレイ表示設定」(p19)で変更ができます。
- 表示させるテキストは「テキスト表示設定」(p18)で変更ができます。

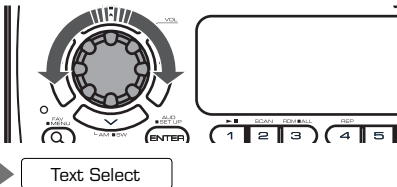
テキスト表示設定

テキスト表示を切り替えます。

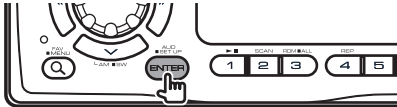
1 ディスプレイセットアップモードにします



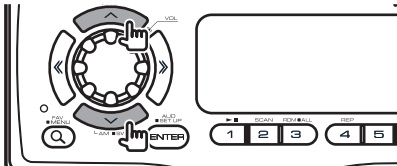
2 テキストセレクトを選択します



3 テキストセレクト選択モードに入ります

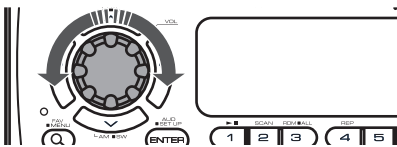


4 設定するテキスト表示を選択します



設定可能なテキストが点滅します。

5 表示を切り替えます



次の順に切り替わります。

FM/AM受信、交通情報受信時

表示	設定内容
Frequency	周波数表示
Clock	時計表示
Date	日付表示
Blank	何も表示しません

iPod/USBプレイ時

表示	設定内容
Title/Artist	曲名&アーティスト名
Album/Artist	アルバム名&アーティスト名
Folder Name	フォルダ名
File Name	ファイル名
P-Time	プレイタイム&ファイル名
Clock	時計表示
Date	日付表示
Blank	何も表示しません

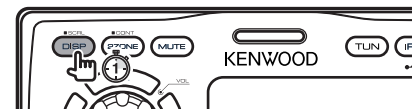
AUX時

表示	設定内容
Source Name	AUXネーム表示
Clock	時計表示
Date	日付表示
Blank	何も表示しません

6 ディスプレイタイプ選択モードを終了します



ディスプレイセットアップモードを終了するときは…



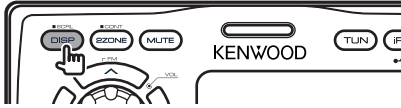
- 選択した情報がない場合は、代替の情報が表示されます。
- iPodのプレイ中にフォルダ名表示を選択すると、現在選択中のブラウズ項目に沿った名称が表示されます。
- iPodのプレイ中の表示で、すべての文字を表示できない場合は、リスト内のファイル番号で示します。

表示内容	表示
曲名	"TITLE***"
フォルダ名	"FLD***"
ファイル名	"FILE***"

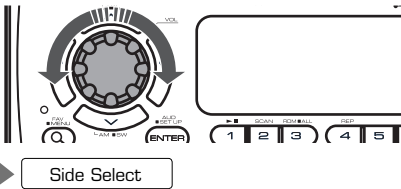
サイドディスプレイ表示設定

ディスプレイ左側の表示を設定します。

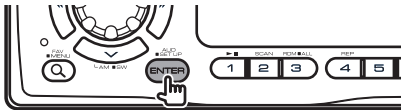
1 ディスプレイセットアップモードに入ります



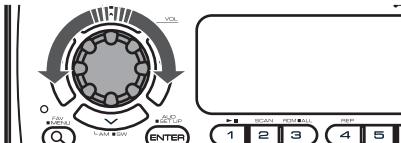
2 サイドディスプレイセレクトを選択します



3 サイドディスプレイセレクト選択モードに入ります

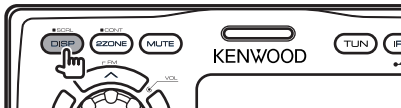


4 サイドディスプレイを選択します

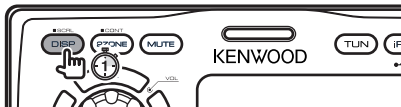


表示しているテキストのタイトル、プレイ中のソースアイコン、または表示無しから選択できます。

5 ディスプレイタイプ選択モードを終了します

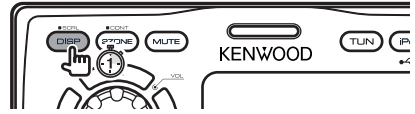


ディスプレイセットアップモードを終了するときは…



タイトルスクロール

タイトル/テキストをスクロールさせます。



タイトル表示のときに、1秒以上押し続けるとスクロールします。



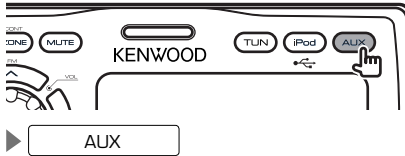
● スクロールできるのは次のタイトルです。

- フォルダ名
- 曲名
- アルバム名
- ファイル名
- アーティスト名

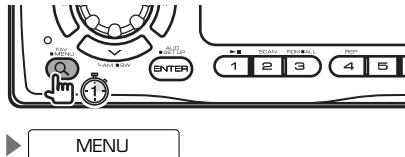
AUXネームセット

AUXソースに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXソースにします

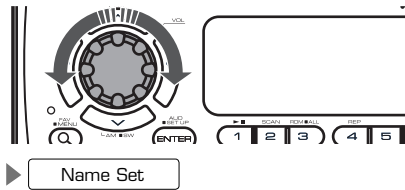


2 メニューモードにします

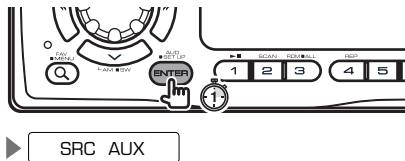


"MENU" と表示されるまで押し続けます。

3 ネームセットの項目を選択します

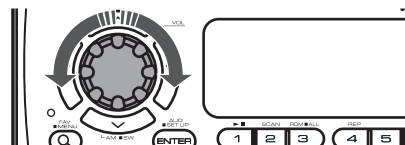


4 ネームセットを開始します



現在のAUXネームが表示されるまで押し続けます。

5 AUXネームを選択します



次の順で切り替わります。

表示

AUX

DVD

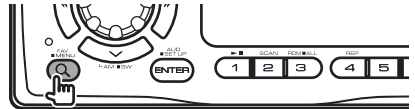
PORTABLE

GAME

VIDEO

TV

6 ネームセットを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。

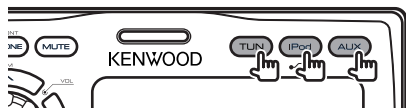
オーディオコントロール

音響効果などを設定します。

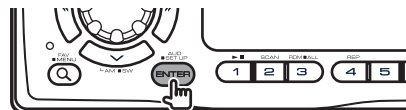
オーディオコントロール

音質や音量などを調整します。

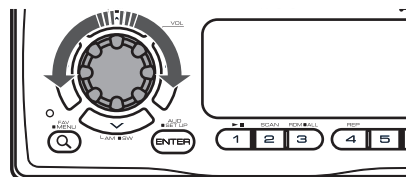
1 設定するソースにします



2 オーディオコントロールモードに入ります



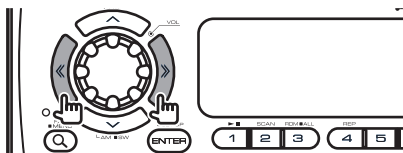
3 調整する項目を選びます



調整項目は次の順で切り替わります。

表示	設定内容
Rear volume	リアボリュームを設定します。
SUB-W Level	サブウーファアの音量を調整します。
dB EQ	ジャンル別イコライザーを設定します。
Bass Level	低音域の音量を調整します。
Middle Level	中音域の音量を調整します。
Treble Level	高音域の音量を調整します。
Balance	左右の音量バランスを調整します。
Fader	前後の音量バランスを調整します。

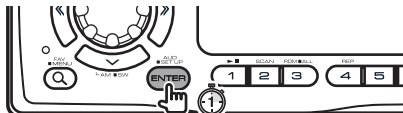
4 各項目を調整します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

表示	設定範囲
Rear volume	0~35
SUB-W Level	-15~+15
dB EQ	User, Rock, Vocal, Easy, Dance, Jazz, Game, Natural
Bass Level	-8~+8
Middle Level	-8~+8
Treble Level	-8~+8
Balance	L(左)15~R(右)15
Fader	R(リア)15~F(フロント)15

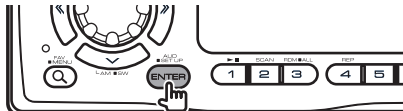
dB EQ設定中は効果の調整ができます



1秒以上押すたびに、次のように切り替わります。イコライザーカーブが“Rock”～“Game”のときに調整できます。

表示	設定内容
High	イコライザー効果大
Low	イコライザー効果小

5 オーディオコントロールを終了します



- イコライザーカーブの“User”表示は、“Bass Level”、“Middle Level”、“Treble Level”を独自に調整していることを示します。
- イコライザーカーブの設定をすると、“Bass Level”、“Middle Level”、および“Treble Level”は、イコライザーカーブの値に置き換えられます。
- 各調整項目については、「Help? 用語集」(p35)をご覧ください。

音質詳細設定

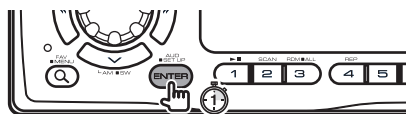
低音、中音、および高音の詳細設定をします。

1 設定する音質を選択します

“Bass Level”, “Middle Level”, または “Treble Level” 表示を選択します。

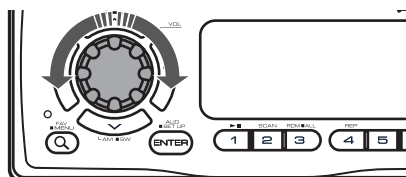
選択のしかたは「オーディオコントロール」(p21) 手順1~3を参照してください。

2 音質詳細設定を開始します



***FREQ

3 調整する項目を選びます



調整項目は次の順で切り替わります。

“Bass Level”で押したとき

表示	設定内容
“Bass FREQ”	調整する低音域の中心周波数
“BassQ Factor”	低音域のクオリティーファクター
“Bass EXT”	低音中心周波数伸張

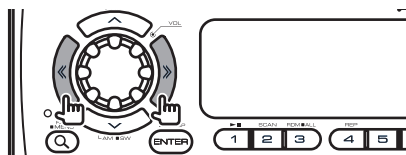
“Middle Level”で押したとき

表示	設定内容
“MID FREQ”	調整する中音域の中心周波数
“MID Q Factor”	中音域のクオリティーファクター

“Treble Level”で押したとき

表示	設定内容
“TRE FREQ”	調整する高音域の中心周波数

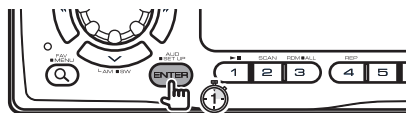
4 各項目を調整します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
Bass FREQ	40/50/60/70/80/ 100/120/150 (Hz)
BassQ Factor	1.00/1.25/1.50/2.00
Bass EXT	OFF/ON
MID FREQ	0.5/1.0/1.5/2.0 (kHz)
MID Q Factor	1.00/2.00
TRE FREQ	10.0/12.5/15.0/17.5 (kHz)

5 音質詳細設定を終了します

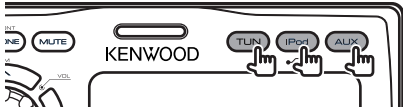


- 各調整項目については、「Help? 用語集」(p35) をご覧ください。

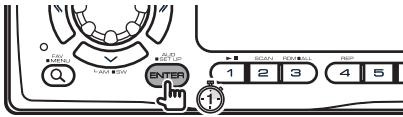
オーディオセットアップ

音量オフセットやローパスフィルターを設定します。

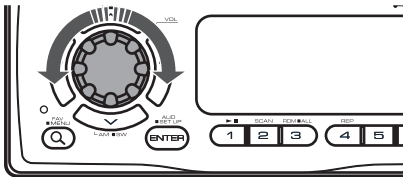
1 設定するソースにします



2 オーディオセットアップを開始します



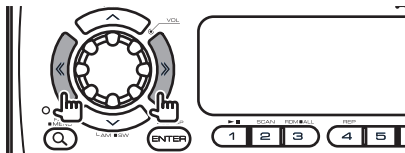
3 調整する項目を選びます



調整項目は次の順で切り替わります。

表示	設定内容
HPF Front	フロントのハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
HPF Rear	リアのハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
LPF SW	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
SW Phase	サブウーファアの位相を設定します。
Volume Offset	各ソースごとの、音量の差を調整します。

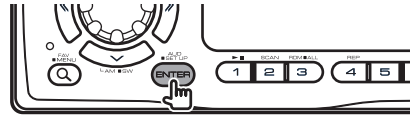
4 各項目を設定します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

表示	設定範囲
HPF Front	Through (フィルターオフ) /40/60/80/100/ 120/150/180/220 (Hz)
HPF Rear	Through (フィルターオフ) /40/60/80/100/ 120/150/180/220 (Hz)
LPF SW	50/60/80/100/120 (Hz) / Through (フィルターオフ)
SW Phase	Reverse(180°) / Normal(0°)
Volume Offset	-8 ~ 0 (AUXのみ: -8 ~ +8)

5 オーディオセットアップを終了します



- “Volume Offset” でソースごとに音量オフセットを設定しておく、ソースを切り替えてもほぼ同じ音量で聴くことができます。
- “LPF SW” および “SW Phase” は、以下の場合に表示されます。
 - 「サブウーファア出力コントロール」(p26) がオン
 - 「デュアルゾーンコントロール」(p26) がオフ
 さらに “SW Phase” は、“LPF SW” 項目が “Through” 以外に設定してある場合に表示されます。
- 各調整項目については、「Help? 用語集」(p35) をご覧ください。

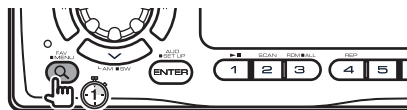
オーディオプリセット

オーディオコントロールの設定をメモリーします。ここでメモリーした値は、リセットボタンを押しても消去されません。

1 メモリーするオーディオコントロール設定をします

「オーディオコントロール」(p21)、「音質詳細設定」(p22)、「オーディオセットアップ」(p23)を参照してください。

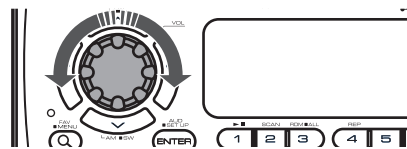
2 メニューモードにします



▶ MENU

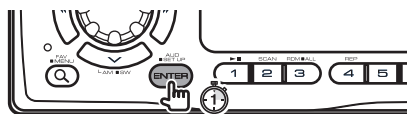
“MENU”と表示されるまで押し続けます。

3 オーディオプリセットの項目を選択します



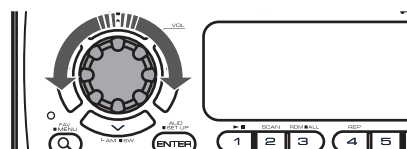
▶ Audio Preset

4 オーディオプリセットを開始します



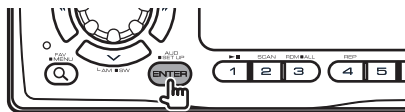
▶ Recall

5 オーディオプリセットメモリーを選択します



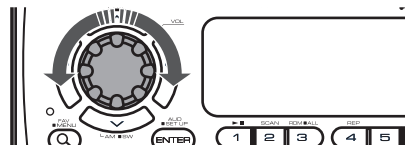
▶ Memory

6 オーディオ設定のメモリーを開始します



▶ Memory?

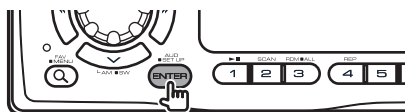
7 “YES” を選択します



オーディオノブで“YES”を選択します。

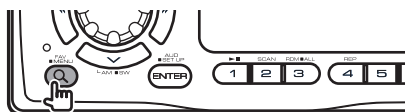
▶ NO YES

8 メモリーします



▶ Memory Completed

9 オーディオプリセットを終了します

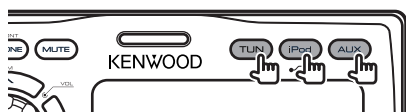


- メモリーできるオーディオコントロール設定は1組です。ソース別のメモリーはできません。
- リセットしたときは、メモリーした値が初期値として呼び出されます。
- “Volume”、“Balance”、“Fader”、“Volume Offset”、“Zone System”および“Rear”Volumeの値はメモリーできません。

オーディオプリセットの呼び出し

オーディオプリセットでメモリーした設定を呼び出します。

1 ソースを選択します



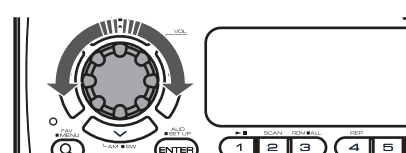
2 メニューモードにします



MENU

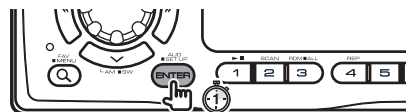
"MENU" と表示されるまで押し続けます。

3 オーディオプリセットの項目を選択します



Audio Preset

4 オーディオプリセットを開始します



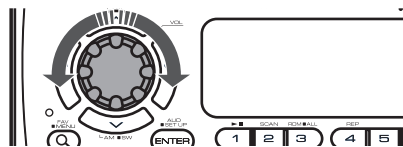
Recall

5 オーディオプリセットの呼び出しを開始します



Recall?

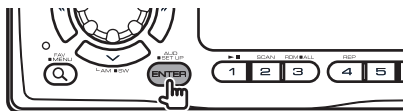
6 "YES" を選択します



オーディオノブで "YES" を選択します。

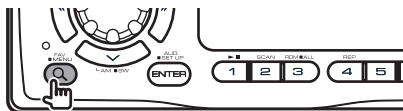
NO YES

7 呼び出します



Recall Completed

8 オーディオプリセットを終了します



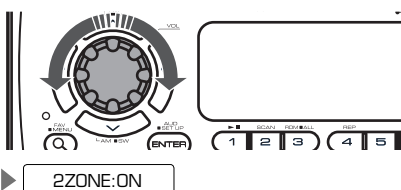
デュアルゾーンコントロール

フロントチャンネルとリアチャンネルで異なるソースを出力します。またそれぞれのチャンネルのソースを設定します。

1 デュアルゾーンコントロールモードにします



2 デュアルゾーンをオンにします

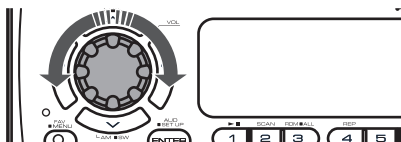


3 デュアルゾーンの設定項目を選択します

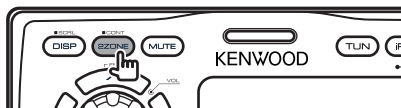


“Front” のソースアイコンを選択時は、フロントのソースを設定できます。“Rear” のソースアイコンを選択時は、リアのソースを設定できます。“2ZONE:ON (OFF)” を選択時はデュアルゾーン機能のオン/オフ設定ができます。

4 選択項目の設定をします



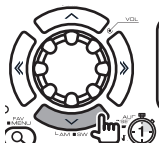
5 デュアルゾーンコントロールモードを終了します



- ソースはTuner、USB (iPodまたはUSBデバイス)、およびAUXから選択できます。iPodとUSBデバイスは1つのソースとして認識されます。このため、フロント側でiPod(またはUSBデバイス)を選択時に、リア側でUSBデバイス(またはiPod)を選択することはできません。
- フロントチャンネルの音量はボリュームノブで調整してください。
- リアチャンネルの音量は「オーディオコントロール」(p21)で調整してください。
- リアソースにはオーディオコントロールの効果はありません。
- デュアルゾーン機能を使用中は、リモコンKCA-RC107MR(別売品)からの操作はフロント側またはリア側専用となります。初期設定ではフロント側のコントロールが可能です。リア側のコントロールに切り替える場合は、「デュアルゾーンコントロールセットアップ」(p33)を参照してください。

サブウーファー出力コントロール

サブウーファー出力のオン/オフを設定します。



“SUBWOOFER ON” または “SUBWOOFER OFF” と表示されるまで押し続けます。



- 「デュアルゾーンコントロール」(p26)の“2ZONE”項目を“OFF”に設定している必要があります。

よく使う操作を設定する(FAVORITE コントロール)

お気に入りのDJの放送局や iPod のプレイリスト、アーティストの一覧表示などを選択するまでの操作をメモリーします。メモリーした設定は、聴いているソースに関係なくダイレクトに呼び出せます。

FAVORITEプリセットメモリー

iPodのプレイリストやアーティストなどを選択する操作手順を、6種類メモリーします。

1 記憶させたいソースにしてメモリーする表示にします

放送局をメモリーする場合

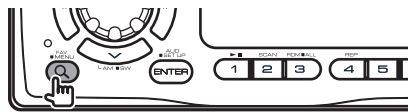
「プリセット局を受信します」(p11)を参照してメモリーする放送局を受信します。

iPodをメモリーする場合

「iPodミュージックサーチ」(p14)を参照してメモリーする項目を選びます。

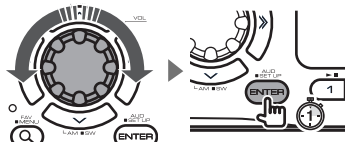
記憶できるときは、ディスプレイの右下に **FAV** マークが表示されます。

2 FAVORITEモードにします



登録してあるFAVORITEメモリーが表示されます。

3 メモリーする番号を選び決定します



オーディオノブで番号を選び、**ENTER**を1秒以上押して決定します。

プリセットメモリーを中止するときは…

Q ボタンを押して終了します

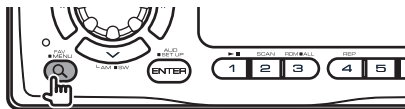


- 同じプリセット番号に登録すると上書きされます。
- 設定したメモリーはリセットボタンを押しても消去されません。
- USBデバイス(メモリーなど)のフォルダやファイルの選択は設定できません。

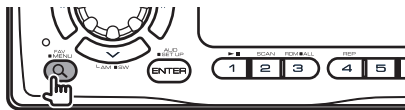
FAVORITEメモリーの呼び出し

FAVORITEプリセットでメモリーした設定を呼び出します。

1 サーチモードにします (USB/iPodソース時のみ)

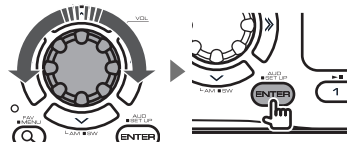


2 FAVORITEモードにします



登録してあるFAVORITEメモリーが表示されます。

3 呼び出しするメモリー番号を選び決定します



オーディオノブで番号を選び、**ENTER**を押して決定します。

FAVORITEメモリーの呼び出しを中止するときは…

Q ボタンを押して終了します

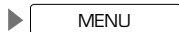
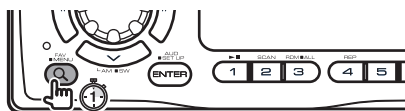


- iPodのときは、プレイリスト/アーティスト/アルバムなどのリスト選択画面を呼び出します。曲は自動的に再生されません。
- <デュアルゾーンコントロール> (p26) 機能がオン有的时候は、FAVORITEプリセットメモリーを呼び出せません。

FAVORITEメモリーの消去

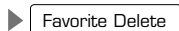
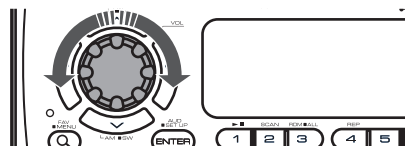
プリセットでメモリーした設定を消去します。

1 メニューモードにします

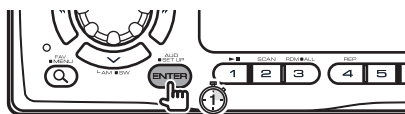


“MENU” と表示されるまで押し続けます。

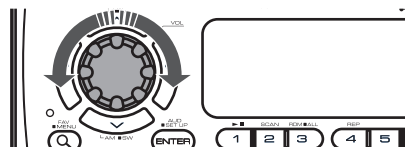
2 FAVORITEメモリー消去の項目を選択します



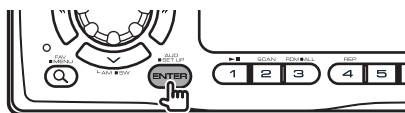
3 FAVORITE消去モードに入ります



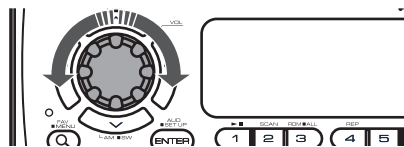
4 オーディオノブで消去する番号または“ALL” (全部)を選びます



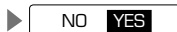
5 選択したプリセットメモリーを消去します



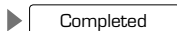
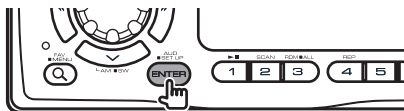
6 “YES” を選択します



オーディオノブで“YES”を選択します。



7 消去します

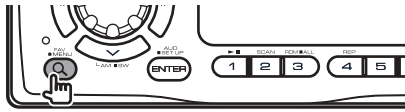


8 ボタンを押して終了します

ネームセット

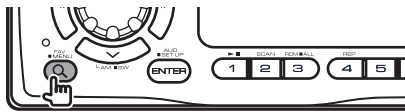
登録したプリセットメモリーの名前を変更できます。

1 サーチモードにします (USB/iPodソース時のみ)



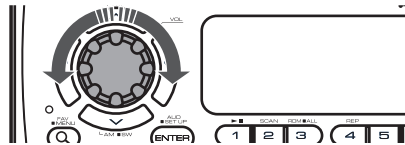
SEARCH/FAVORITE

2 FAVORITEモードにします

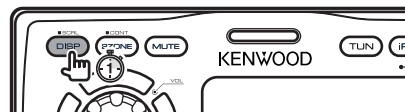


登録してあるFAVORITEメモリーが表示されます。

3 ネームセットをしたいプリセットメモリーを選択します



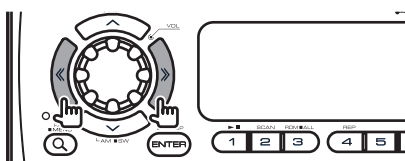
4 ネームセットを開始します



FAVORITE NAME SET

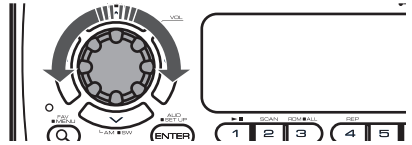
“FAVORITE NAME SET” と表示されるまで押し続けます。

5 文字を入力する位置にカーソルを移動します



A -----

6 文字を選びます



A K -----

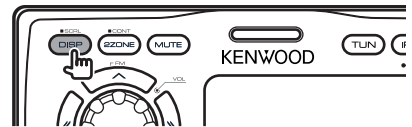
名前は12文字まで登録できます。

(ENTER) を押すたびに、入力できる文字種が次の順に切り替わります。

表示	文字種
"A"	英大文字
"a"	英小文字
"1"	数字・記号

7 手順5、6を繰り返して、すべての文字を入力します

8 ネームセットを終了します



ネームセットを中止するときは…

Q ボタンを押して終了します

メニュー (MENU)

各種機能を設定します。

メニュー設定

以下の機能の設定をします。

表示	設定	操作	設定概要	ソース	ページ
Skip	0.5%*/ 1%/5%/ 10%		「ミュージックサーチ」でスキップする割合を設定します。	iPod	14 36
Beep	OFF/ ON*		操作音の有無を設定します。	—	36
Clock Adjust			時刻を設定します。	—	9
Date Adjust			日付を設定します。	—	9
ILM Dimmer	Auto*/ Manual/ OFF		イルミネーションの明るさと、ライトスイッチとの連動を設定します。	—	36
ILM Effect	OFF/ ON*		本機の操作に連動してイルミネーションの色を変えます。	—	36
DISP Dimmer	Auto*/ Manual/ OFF		ディスプレイの明るさを設定します。	—	36
Contrast	1 - 10		ディスプレイのコントラストを調整します。	—	36
DISP N/P	POS11/ POS12/ NEGA1/ NEGA2		ディスプレイの表示タイプをネガとポジから選択します。	—	36
AMP	OFF/ ON*		内蔵アンプのオン/オフを設定をします。	—	36
Supreme	OFF/ ON*		Supreme機能のオン/オフを設定します。	USB	36
Seek Mode	Auto1*/ Auto2/ Manual		放送局の選択方法を設定します。	Tuner	36
Auto Memory	—		放送局放送局を自動でメモリーします。	Tuner	11
MONO	OFF*/ ON		モノラル音声で受信します。	FM	36
Name Set	—		AUXソースに名前を付けます。	AUX	20
Scroll	Auto*/ Manual		テキスト表示を自動的にスクロールするか設定します。	—	36
Favorite Delete	—		プリセットしたFavoriteを消去します。	—	28

Built in AUX	OFF/ ON*		ソース選択時にAUXを表示するか設定します。	—	36
Audio Preset	—		オーディオコントロールの値をメモリーします。	—	24
Backup MEM DEL	—		メニューなどの設定を初期状態に戻します。	—	31
SYS F/W VER	—		ファームウェアのバージョンを表示します。	—	—

*お買い上げ時の設定状態を示します。

iPod : iPodソース中に設定できます。

USB : USBソース中に設定できます。

Tuner : Tunerソース中に設定できます。

FM : FMを受信中に設定できます。

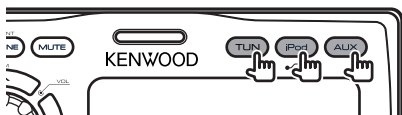
AUX : AUXソース中に設定できます。

— : すべてのソース中に設定できます。



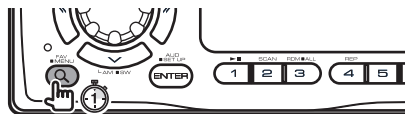
- ページ数が表記されている項目は、それぞれのページを参照してください。

1 ソースを切り替えます



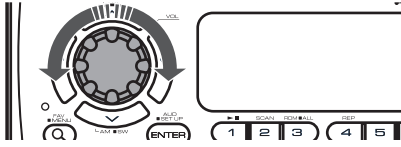
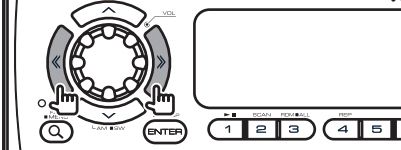
表示される項目は、ソースによって異なります。ソース欄を参照してください。

2 メニューモードにします

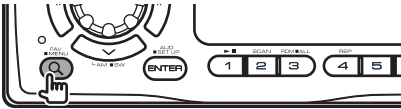


▶ MENU

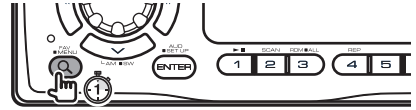
“MENU” と表示されるまで押し続けます。

3 設定する項目を選択します**4 各項目を設定します**

各項目の設定は通常《 / 》ボタンで行いますが、設定する前に《ENTER》を1秒または2秒押す必要がある項目もあります。このような項目は操作欄に①または②アイコンが表示されています。

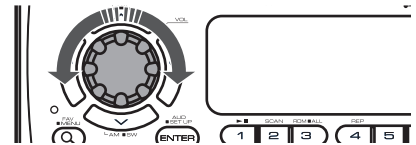
5 メニューモードを終了します**バックアップメモリー消去**

メニューやオーディオコントロールなどの設定を初期状態にします。

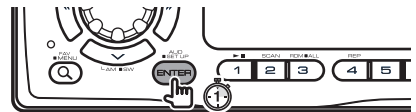
1 メニューモードにします

▶ MENU

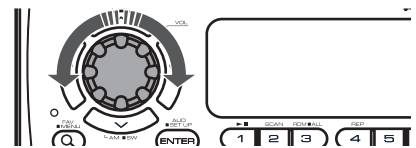
“MENU” と表示されるまで押し続けます。

2 バックアップメモリー消去の項目を選択します

▶ Backup MEM DEL

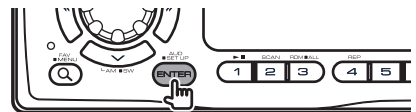
3 バックアップメモリー消去モードに入ります

▶ Backup MEM DEL?

4 “YES” を選択します

オーディオノブで“YES”を選択します。

▶ NO YES

5 バックアップメモリーを消去します

▶ Reboot

“Reboot” と表示され本機が再起動します。

メニューなどの設定が初期状態になります。JA ● 31

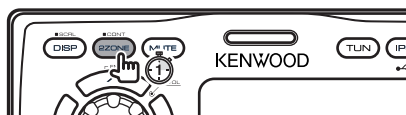
リモコン（別売）セットアップ

リモコン KCA-RC107MR（別売）を本機に接続したときのセットアップを行います。

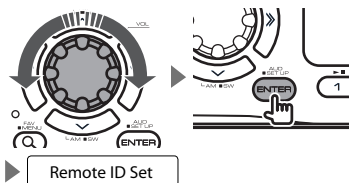
リモコンIDセットアップ

リモコン KCA-RC107MR（別売）を本機に接続したときは、KCA-RC107MR に ID（識別番号）を割り当てる必要があります。

1 リモコンセットアップモードにします

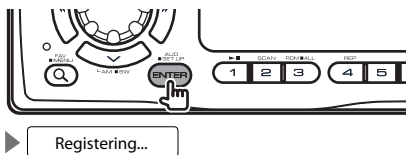


2 リモコンIDセットアップの項目を選択します



リモコンIDリストが表示されます。“YES”と表示されているリモコンIDは登録済みです。“NO”と表示されているリモコンIDに登録可能です。

3 リモコンID登録状態にします



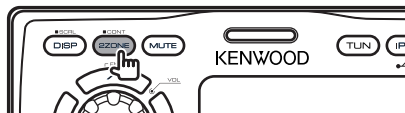
4 リモコンIDを登録します

登録する KCA-RC107MR の **ENTER**、**SRC**、または **DISP** ボタンを押します。

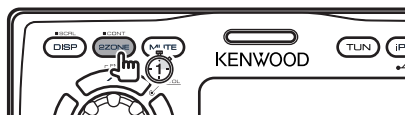
ボタン	リモコンID
ENTER	ID1で登録されます。
SRC	ID2で登録されます。
DISP	ID3で登録されます。

“ID0 Setup : Completed” と表示されます。

5 リモコンIDセットアップモードを終了します



途中でリモコンセットアップを中止するときは…

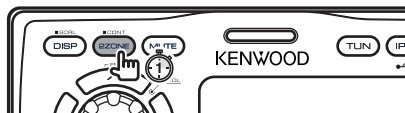


- KCA-RC107MRを取り外すときは、「リモコンIDの解除」(p32)を参照してリモコンIDの割り当てを解除してください。
- リモコンIDを割り当てるまで、リモコンからの操作はできません。

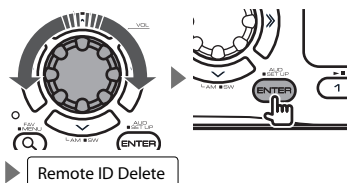
リモコンIDの解除

リモコン KCA-RC107MR（別売）に割り当てられているIDを解除します。

1 リモコンセットアップモードにします

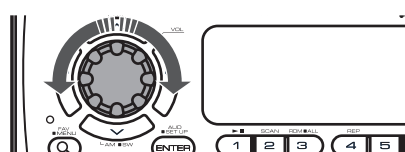


2 リモコンID解除の項目を選択します

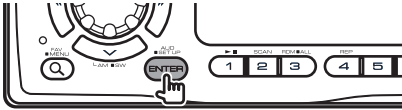


解除可能な登録済みリモコンのIDが表示されます。

3 解除するリモコンIDを選択します

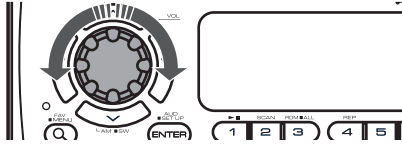


4 解除するリモコンIDを決定します

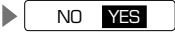


"Remote IDO Delete?" と表示されます。

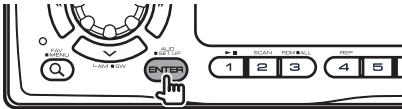
5 "YES" を選択します



オーディオノブで "YES" を選択します。

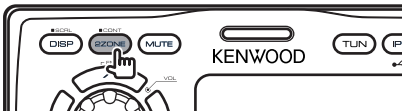


6 リモコンIDを解除します

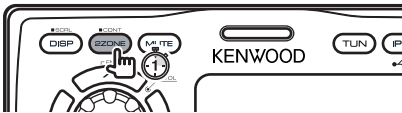


"IDO Delete : Completed" と表示されます。

7 リモコンID解除を終了します



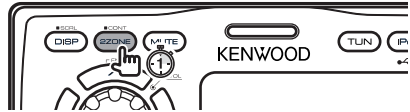
途中でリモコンIDの解除を中止するときは…



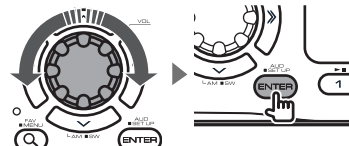
デュアルゾーンコントロールセットアップ

デュアルゾーンシステム (p26) がオン中に、リモコン KCA-RC107MR (別売) で前または後ろのどちらのチャンネルをコントロールするかを設定します。

1 リモコンセットアップモードにします



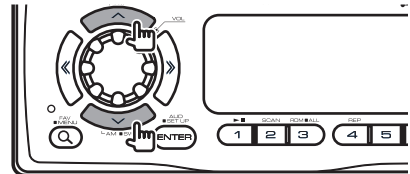
2 デュアルゾーンコントロールセットアップの項目を選択します



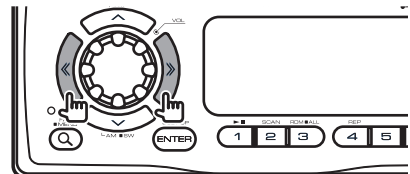
Remote Zone SEL

登録済みのリモコンIDには、現在の設定が表示されます。

3 設定するリモコンIDを選択します

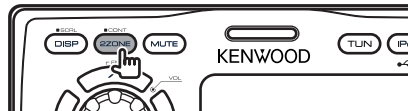


4 コントロールするチャンネルを選択します



表示 デュアルゾーン中にコントロールするチャンネル
 Front 前のチャンネルをコントロールします。
 Rear 後ろのチャンネルをコントロールします。

5 デュアルゾーンコントロールセットアップを終了します



オーディオファイル

以下のオーディオファイルがプレイできます。

プレイできるオーディオファイル

AAC-LC (.m4a), MP3 (.mp3), WMA (.wma), WAV (.wav)

プレイできるUSBデバイス

USBマスタストレージクラス

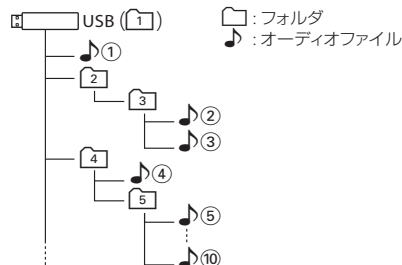
プレイできるUSBデバイスファイルフォーマット

FAT16, FAT32

上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアやデバイスの種類やコンディションにより正常にプレイできない場合があります。

オーディオファイルをプレイする順番

下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディア/デバイスでは①から⑩の順にプレイされます。



オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、www.kenwood.com/audiofileで公開しています。オンラインマニュアルには、この取扱説明書に記載されていない詳しい情報や注意事項が掲載されています。この取扱説明書とあわせて必ずお読みください。



- USBデバイスやiPodを接続して本機の電源をオンにすると、接続している機器の充電ができます。
- USB/ハブやを介してUSBデバイスを認識させることはできません。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、英数字と記号のみです。

音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

接続できるiPodについて

Made for

- iPod nano (1st generation) ● iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (3rd generation) ● iPod nano (4th generation)
- iPod with video ● iPod classic
- iPod touch (1st generation) ● iPod touch (2nd generation)

Works with

- iPhone 3G



iPhone 3G
8GB 16GB

- iPod/iPhoneのソフトウェアは最新のバージョンにアップデートしてください。

ミュージックエディター

本機にはMusic Editor PCアプリケーションソフトウェアのCD-ROMが付属しています。

Music Editorで作成したUSBデバイスを再生できません。

- Music Editorの取り扱いについてはCD-ROMに収録されている説明書およびアプリケーションヘルプを参照してください。
- Music Editorの機能や使用方法などについては、ケンウッドカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- Music Editorに関する最新の情報は、下記URLをご覧ください。
URL : <http://www.kenwood.co.jp/faq/>

使用できる別売のリモコンについて

本機にはKCA-RC107MR (別売)が3台接続できます。別売のリモコンについては、カタログをご覧ください。なお、購入店にお問い合わせください。なお、リモコンの使用方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

リモコンを接続するときには、リモコンIDの登録が必要です。詳しくは「リモコンIDセットアップ」(p32)をご覧ください。

故障かな？と思ったら

？ 操作スイッチを押しても動作しない

- ✓ システムに異常が発生している。
- ➡ リセットボタンを押してください(p5)。

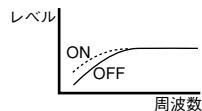
？ チューナーの感度が悪い

- ✓ アンテナコントロール電源が接続されていない。
- ➡ 「接続」(p40)を参照して正しく接続し直してください。

オーディオコントロール

Bass EXT (バスエクステンデッド)

この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。

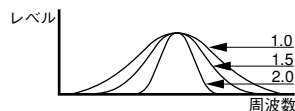


Bass FREQ/MID FREQ/TRE FREQ (バスフリケンシィ/ミドルフリケンシィ/トレブルフリケンシィ)

低音、中音、高音を調節する周波数(中心周波数)を、この機能を使って設定することができます。

Bass Q Factor/MID Q Factor (クオリティファクター)

低音、中音の調節スローブを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスローブの傾斜が大きくなります。



dB EQ (プリセットイコライザー)

ジャンル別に設定された効果には以下のような特徴があります。

ROCK：スピーディーで力強いアタック音を再現します。

VOCAL：生き生きとしたボーカルを主体に再現します。

EASY：中低域をベースにした味わい深いサウンドを再現します。

DANCE：ビートの利いた音を再現します。

JAZZ：ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。

GAME：ゲームの効果音をダイナミックに再現します。

NATURAL：原音のまま出力します。

HPF Front/HPF Rear (ハイパスフィルター)

設定された周波数(カットオフ周波数)よりも低い成分をカットします。

プリアウトをサブウーファー用に使用するとき、この機能を使って、出力から低域成分をカットして高域のみの音にします。"Through"に設定すると、この機能をオフにできます。

本機では、ハイパスフィルターをフロントスピーカー(HPF Front)とリアスピーカー(HPF Rear)に独立して設定できます。

LPF SW (ローパスフィルター)

設定された周波数(カットオフ周波数)よりも高い成分をカットします。

プリアウトをサブウーファー用に使用するとき、この機能を使って、出力から高域成分をカットして低域のみの音にします。"Through"に設定すると、この機能をオフにできます。

Rear Volume (リア音量)

デュアルゾーン機能使用時の、リア側の音量を調整します。

SUB-W Level (サブウーファー音量)

サブウーファーの音量を調整します。

SW Phase (サブウーファーフェイズ)

サブウーファーの位相(正相/逆相)を設定します。

Vol Offset (ボリュームオフセット)

各ソースごとの音量の差を調整します。

これにより、ソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。

メニュー(MENU)

AMP (内蔵アンプ出力)

内蔵アンプの出力をオン/オフします。
フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“OFF”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。
内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクオリティをアップさせることができます。

Beep (ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押しやすく離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押し続けて機能をオン/オフしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

なお、ビーブ音はプリアウトからは出力されません。

Built in AUX (内蔵AUX入力)

この機能をオンにすることにより、AUXソースを選択できるようになります。

ON : AUXソースが選択できるようになります。内蔵AUX端子に外部機器を常に接続している場合はこの設定にします。

OFF : AUXソースが選択できないようになります。内蔵AUX端子を使用しないときはこの設定にします。

Contrast (コントラスト)

ディスプレイのコントラストを調整します。
取り付け位置によってはディスプレイの文字が見えにくい場合があります。このようなときに調整してください。

DISP Dimmer(ディスプレイディマー)

ディスプレイの輝度を下げます。
Auto : ライトスイッチに連動して減光します。
Manual : 常時減光します。
OFF : 減光しません。

DISP N/P(ディスプレイリバース)

ディスプレイの表示タイプをネガとポジに切り替えます。また、ライトスイッチに連動して反転することも可能です。

POS11 : 文字をポジタイプで表示します。

POS12 : ライトスイッチがオフのときは、文字をポジタイプで表示し、オンにするとネガタイプで表示します。

NEGA1 : 文字をネガタイプで表示します。

NEGA2 : ライトスイッチがオフのときは、文字をネガタイプで表示し、オンにするとポジタイプで表示します。

ILM Dimmer (イルミネーション ディマー)

イルミネーションの輝度を下げます。
Auto : ライトスイッチに連動して減光します。
Manual : 常時減光します。
OFF : 減光しません。

ILM Effect (イルミネーション エフェクト)

本機の操作に連動してイルミネーションの明るさを変える演出効果を設定します。
OFF : 演出効果がありません。
ON : 本機を操作することにより、明るさが変化します。

MONO (モノラル設定)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

NAME SET (ネームセット)

AUXソースに切り替えたとときの表示を設定します。

Scroll (スクロール)

ディスプレイにフォルダネーム、ファイルネーム、曲名/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。この機能を“Auto”に設定しておくともスクロール表示を繰り返し行い、“Manual”に設定しておくとも表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

Seek Mode (シークモード)

放送局の探し方を設定することができます。
Auto1 : 放送局を自動的に見つけ出します。
Auto2 : メモリーされている放送局を順番に受信します。
Manual : 1ステップずつ周波数が変わります。

Skip Search (スキップ設定)

iPodソース中の「USBミュージックサーチ」または「iPodミュージックサーチ」(p14)で項目を移動する際のスキップする曲数を、現在選択しているリスト内総数の割合で決めます。
ここではスキップする割合を設定します。

Supreme (サブリーム)

低ビットレートでエンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。補完は圧縮フォーマット(AAC、MP3、およびWMA)別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。なお、オーディオファイルのフォーマットやエンコード時の設定の関係によっては、効果が分かりにくい場合があります。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

N/A FILE :

サポートされていないオーディオファイルのフォーマットをプレイしようとした。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

Protect (点滅) :

スピーカーコードがショートしていたり、車の金属部分に接触してプロテクション機能が働きました。

➡ スピーカーコードを正しく配線または絶縁してからリセットボタンを押してください。

なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービスセンターへご相談ください。

Reading :

収録されているデータのチェック中です。

No Device :

USBデバイスが接続されていないときにUSBソースが選択されました。

➡ USBデバイスを接続し、再びUSBソースにしてください。

N/A Device :

● サポートされていないUSBデバイスが接続されました。

➡ リムーブモードにしないで取り外してください。サポートされているUSBデバイスについては「オーディオファイル」(p34)を参照してください。

● サポートされていないiPodが接続されました。

➡ 接続しているiPodが接続可能なiPodか確認してください。接続可能なiPodについては「接続できるiPodについて」(p34)を参照してください。

No Music Data /No Music :

接続されているUSBデバイスには、プレイできるフォーマットのオーディオファイルがありません。

USB Error :

接続されているUSBデバイスに不具合が発生した可能性があります。

➡ USBデバイスを取り外し、電源を入れなおしてください。再度同じ表示がされる場合は、他のUSBデバイスをお使いください。

USB REMOVE (点滅) :

USBデバイスがリムーブモードになっています。USBデバイスが安全に取り外せます。

iPod REMOVE (点滅) :

iPodがリムーブモードになっています。iPodが安全に取り外せます。

FAV : No Memory

プリセットメモリーが登録されていません。(p27)

NO ACCESS :

FAVORITEコントロールでプリセットした操作が出来なかった。(iPodの操作を設定をしてiPodを取り外したときなど)

➡ iPodを接続してからプリセットメモリーを呼び出してください。

取り付け時のご注意

警告



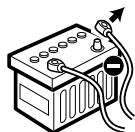
禁止

24V バッテリーには接続しないでください。火災などの原因となります。本製品は DC12V⊖ アース車専用です。



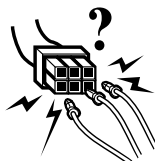
実施

配線作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。ケガの原因となります。



実施

本製品を取り付けるときには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にしないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。

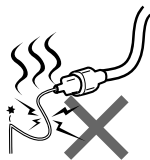
また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。





禁止

アースコードを、重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



実施

板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源(黄)を接続する電源のヒューズ容量が、本製品ヒューズ容量(1.5A)以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本製品との総ヒューズ容量が船舶側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

船舶側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



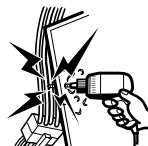
実施

電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。



注意

穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、電装系などが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または船舶のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



実施

本製品は壁などに埋め込んだ状態で使用してください。また使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

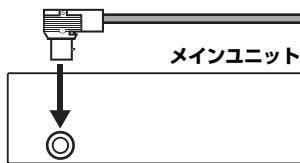
接続



実施

ショート事故防止のため必ずバッテリーの ⊖ 端子を外してください。

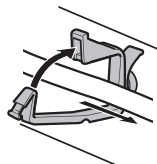
1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード (黒)、バッテリー電源コード (黄)、アクセサリ電源コード (赤) の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
5. 取り付け終了後に、バッテリーの ⊖ 端子を接続します。
6. 電源をオンします。
7. 本機のリセットボタン (p5) を押します。



KCA-RC107MR (別売品)
(最大3台まで接続可能)



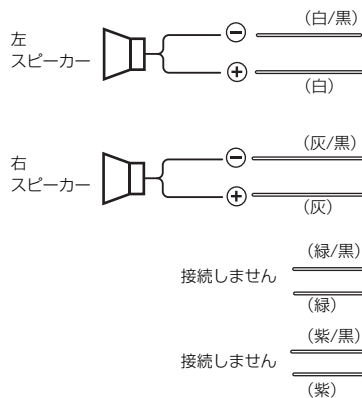
I/Fケーブル (付属) をクランプ (付属) で必ず固定します。



注意

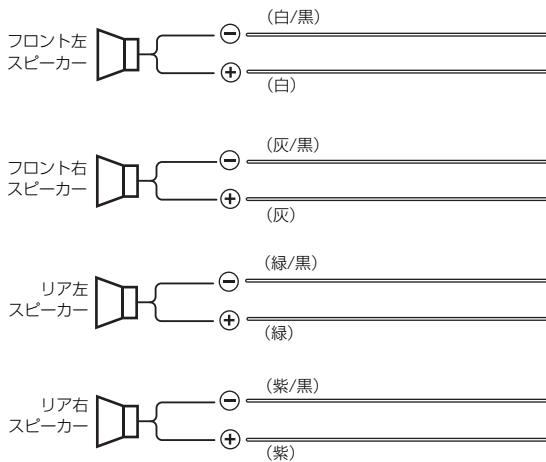
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量 (アンペア数) の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法



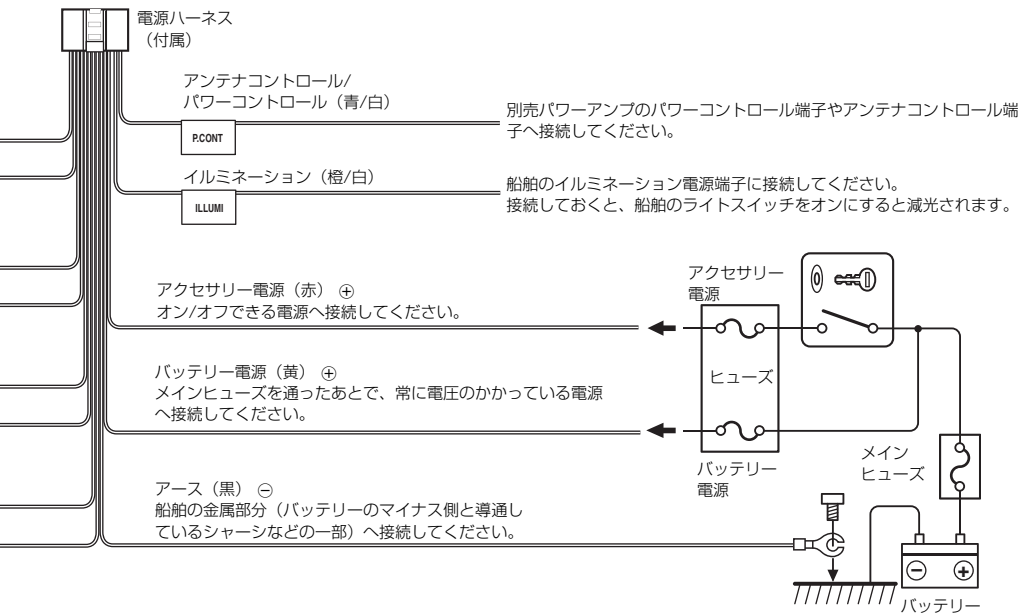
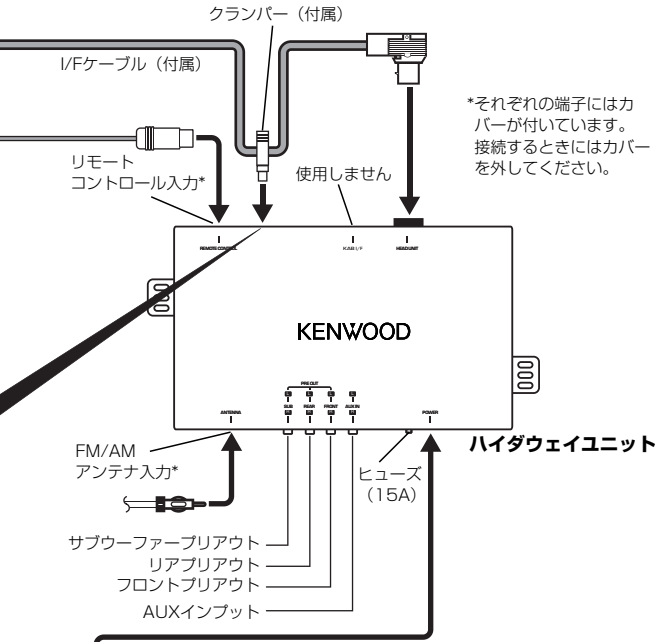
注意

接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。



注意

- スピーカーコードの ⊕ ⊖ 端子をシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの ⊖ 端子を共通にして接続しないでください。

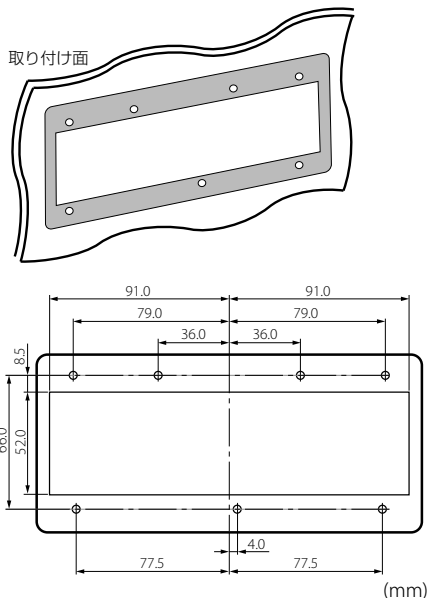


接続

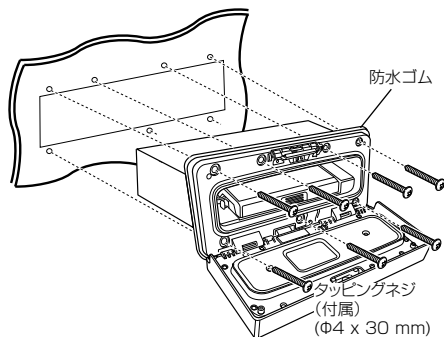
取り付け

メインユニットの取り付け

- 1 取り付ける位置にテンプレート(付属)を貼り付けます。
- 2 テンプレート(付属)に合わせて、取り付け表面に穴(メインユニット取り付け穴 x1、ネジ取り付け穴 x7)を開けます。

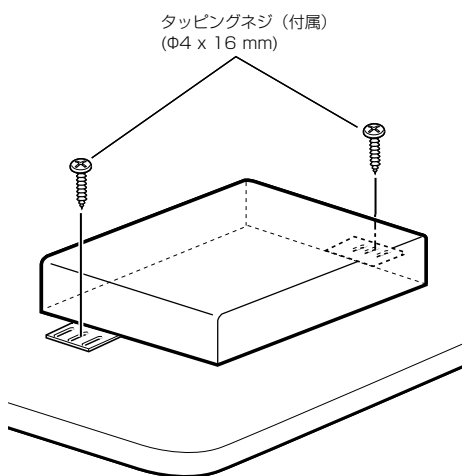


- ☰
- ネジ用の穴の大きさは取り付け表面の素材に合わせて決定してください。
- 3 テンプレート(付属)を取り外します。
 - 4 メインユニットを取り付けます。



- 防水ゴムは外さずに取り付けてください。防水ゴムが無い場合は本来の防水性能を得ることができず、メインユニット内部に水が入り、故障の原因となります。
- パネル部以外は水のかからない場所に取り付けてください。水がかかると本機の故障の原因となります。
- メインユニットの取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。

ハイダウェイユニットの取り付け



- ハイダウェイユニットは水のかからない場所に取り付けてください。水がかかると本機の故障の原因となります。
- 取り付けの前に、裏側にガソリタンク、パイプ、ワイパーなどが無いことを確認して、ネジによるこれらの破損を防止してください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
: 76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N: 30 dB)
: 9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度
: 15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB) : 30 Hz ~ 15 kHz
S/N比 : 70 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz) : 80 dB以上
ステレオセパレーション : 40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
: 522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)
感度 : 28 dB μ (25 μ V)

USB I/F部

USB規格 : USB 1.1/2.0 (Full speed対応)
最大供給電流 : 500 mA
ファイルシステム : FAT16/32
D/Aコンバーター : 24 Bit
周波数特性 : 20 Hz ~ 20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率 : 0.01 % (1 kHz)
ダイナミックレンジ : 93 dB
MP3デコード : MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード : Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード : AAC-LC形式 “.m4a” ファイル
WAVシグナル : Linear-PCM

オーディオ部

最大出力 : 50 W \times 4
定格出力 (4 Ω , 1kHz, 10%THD以下) : 30 W \times 4
スピーカーインピーダンス : 4 ~ 8 Ω
プリアウトレベル (USB) : 4000 mV/10 k Ω
プリアウトインピーダンス : 600 Ω 以下
オーディオコントロール
バス : 100 Hz \pm 8 dB
ミドル : 1 kHz \pm 8 dB
トレブル : 10 kHz \pm 8 dB

AUX入力

周波数特性 : 20 Hz ~ 20 kHz \pm 1 dB
入力最大電圧 : 1200 mV
入力インピーダンス : 10 k Ω

電源部

電源電圧 : 14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流 : 15 A

寸法・質量

メインユニット
埋込寸法 (W \times H \times D) : 180 \times 50 \times 138 mm
最大外形 (W \times H \times D) : 197 \times 90 \times 188 mm
質量 (重さ) : 1.02 kg
ハイドウェイユニット
最大外形 (W \times H \times D) : 243 \times 52 \times 169 mm
質量 (重さ) : 0.97 kg

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「Help? 故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は ...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は ...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道

札幌サービスセンター ☎ 007-0834 札幌市東区北34条東14丁目1-23 ☎ (011) 743-7740

東北

仙台サービスセンター ☎ 984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1 (斎喜センタービル) ☎ (022) 288-3538

関東・信越

さいたまサービスセンター ☎ 330-0801 さいたま市大宮区土手町1-2 (JA共済埼玉ビル1F) ☎ (048) 647-6818

千葉サービスセンター ☎ 277-0081 柏市富里1-2-1 ☎ (04) 7163-1441

横浜サービスセンター ☎ 226-8525 横浜市緑区白山1-16-2 ☎ (045) 939-6242

新潟サービスセンター ☎ 950-0923 新潟市中央区姥ヶ山1-5-37 ☎ (025) 287-7736

目黒サービスセンター ☎ 153-0042 目黒区青葉台3-17-9

(修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、カスタマーサポートセンター(裏表紙をご覧ください)にて承ります。

中部・甲州

名古屋サービスセンター ☎ 462-0861 名古屋市長区辻通1-11 ☎ (052) 917-2550

静岡サービスセンター ☎ 420-0816 静岡市葵区沓谷5-61-1 ☎ (054) 262-8700

金沢サービスセンター ☎ 920-0036 金沢市元菊町21-87 ☎ (076) 265-5045

近畿・四国

大阪サービスセンター ☎ 532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22 ☎ (06) 6394-8075

高松サービスセンター ☎ 760-0068 高松市松島町3-1 ☎ (087) 835-2413

中国

広島サービスセンター ☎ 731-0137 広島市安佐南区山本1-8-23 ☎ (082) 832-2210

九州

福岡サービスセンター ☎ 812-0031 福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F ☎ (092) 283-6675

鹿児島サービスセンター ☎ 890-0063 鹿児島市鴨池2-15-10 (パレス鴨池1F) ☎ (099) 251-6347

沖縄サービスセンター ☎ 901-2101 浦添市西原4-36-17 (株) 物琉2F ☎ (098) 874-9010

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00～18:00 (土曜、日曜、祝日および当社休日とは休ませていただきます)

(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)



このシンボルマークはケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960

FAX 045-450-2287

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町312

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。